

議長定例記者会見 会見録

日時：平成25年6月3日10時30分～

場所：全員協議会室

1 冒頭の発言事項

初めての定例記者会見にあたって

2 発表事項

平成25年度三重県議会インターンシップ実習生の募集について
第1回三重県議会「政策セミナー（仮称）」開催（案）について

3 質疑項目

発表事項に対する質疑について

飲酒運転防止に関する条例について

地方交付税の削減による給与カットについて

1 冒頭の発言事項

初めての定例記者会見にあたって

（議長）おはようございます。私にとりましては、初めての議長定例記者会見となりますので、何卒よろしくお願いを申し上げます。

この議長定例記者会見といいますのは、報道機関の皆さんのご協力の下、議会における様々な取り組みや県政における課題などについて広く発信することで、県民の皆さまに議会活動について理解を深めていただくなど、大変重要な機会であると思っております。私としましては、これからも引き続き、議長定例記者会見を開催していきたいと考えておりますので、何卒ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、ここで、副議長からも一言、ご挨拶をいただきたいと思っております。

（副議長）おはようございます。私にとりましても、初めての議長定例記者会見でございますので、どうぞ今年1年間よろしくお願い申し上げたいと思っております。本定例記者会見の意義としては、先ほども議長が申し上げたとおり、大変重要なものであると認識しておるところでございます。私としても、ぜひともこの機会を通じながら、広聴広報会議等の情報発信を県民の皆さま方にさせていただければと思っておりますので、どうぞご指導賜りますよう、ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2 発表事項

平成25年度三重県議会インターンシップ実習生の募集について

(議長) それでは、改めて、平成25年度三重県議会インターンシップ実習生の募集について発表をさせていただきます。

お手元の資料のとおり、全国の公共政策大学院16大学の学生2名以内を対象に、今年の9月から12月までのうち2週間程度を実習期間として実習生を募集させていただきます。このインターンシップにつきましては、これまでの4年間で計8名を実習生として受け入れさせていただき、うち1名は平成23年度から三重県職員として採用されるなど、地方自治の現場を体験する貴重な機会にもつながっているのではないかと思います。募集は本日、6月3日から実施することとなっていますので、実習生が決まりましたら、後ほど改めて発表をさせていただきます。

第1回三重県議会「政策セミナー(仮称)」開催(案)について

(議長) 続きまして、次のテーマでございますけども、第1回三重県議会「政策セミナー」開催案について、発表させていただきます。

先の所信表明でお話ししましたトップセミナーについてですが、明日、6月4日に開催されます代表者会議において、第1回セミナーの開催内容などについてご協議いただく予定をしておりますが、今回、定例記者会見という貴重な機会がありますので、予定ではございますが、第1回の開催内容についてご説明をさせていただきます。

三重県議会では、平成23年7月以降、計8回のトップセミナーを開催し、議員の政策形成能力の向上や、県議会での政策議論の充実・深化につなげてきましたが、地方分権改革など地方を取り巻く環境が大きく変わろうとする中、二元代表制の一翼を担う県議会が真に県民の負託に応えていくためには、より現場の感覚で、より県民の視点に立った政策議論を、さらに深化・発展させていくことが重要となっています。

このため、地域社会が抱える様々な課題や県政の重要事項などをはじめ、今後は、地域に根ざした各種団体等の活動なども視野に入れ、名称を「政策セミナー(仮称)」と改めたうえで、時宜に応じたテーマに係る専門家や活動団体の代表者などを招いたセミナーを、年4回程度、全議員を対象として開催していきたいと考えています。

今回が第1回目となる「政策セミナー」については、皆さんのお手元に配付しました資料のとおり、6月28日の金曜日、午後1時から、全員協議会室にて開催をする予定です。

今回のセミナーでは、伊賀市の出身で、これまでにNHK大河ドラマの制作や、今も映画監督などをしてご活躍されている吉村氏から、映像制作を通じた

三重の魅力発信、フィルムコミッション活動を通じた「人を迎える心」の大切さ、加えて、三重県観光のあり方などについてお話を伺うこととしております。なお、講演いただいた後に、議員との意見交換も予定をしています。

今回のセミナーを通して、本県における地域活性化や観光振興などの議論に反映させていきたいと考えております。

3 質疑応答

発表事項に対する質疑について

(質問) まず、最初のインターンシップの募集は前回の定例議長会見でも出されていたんですけども、変わった点はどこなんでしょうか。

(議長) 去年の考え方を大体踏襲してきておりまして。

(質問) 前回の議長会見の時から、追加された点とかあったら教えて欲しいんですけども。

(議長) それは、考え方はもう、ございません。

飲酒運転防止に関する条例について

(質問) 飲酒運転防止条例は6月会議に上程されるんですか。

(議長) 6月会議に上程する予定でございます。飲酒運転の件でございますけど、ご承知のように条例の趣旨としては、教育及び知識の普及といういわゆる規範意識の定着、それともう一つはアルコール依存症を含めて再発防止、こんなところの2点を中心として条例化を検討していただいて、5月1日から5月31日まで中間案をパブリックコメントでかけさせていただいておりますので、6月7日開催の第13回検討会でその結果を集約していただいて、来週の10日に開催する全員協議会、ここで説明をしていただく予定をしております。ちなみにパブリックコメントの件数は8件ほどございました。最終的には6月の28日に採決をさせていただくという予定で、現在進めさせていただいております。

(質問) 上程はいつですか。

(議長) 6月12日に上程する予定です。

地方交付税の削減による給与カットについて

(質問) 交付税削減で、今、県当局と組合が交渉していますけども、もし給与カットになれば条例が提出されると思うので、そのあたりの相談というのは県当局からありますか。

(議長) 県当局からの相談は、今のところは全然ございません。私どもも、新聞報道を注視して見ていると、こういうことでございます。

(質問) 交付税のことなんですが、改めて、給与カットということについては、議長ご自身はどのようなお考えなんでしょうか。

(議長) 全国議長会が地方6団体で統一的な見解を出しておりますけども、本来、条例により自主的に決定されるべき給与について、引き下げ要請が行われるということはあってはならないと、こんな形で全国議長会の見解も出ておりますので、私ども三重県議会としても右に倣えということで、そんな考え方を一応持っております。

(質問) それは、今後具体的な動きに表れることとかっていうのはあるんですか。

(議長) 議会の方があまりそこへ関与するような問題ではございませんので、地方分権が逆行しないような形の中での見守りをやっていきたいと思っておりますので、議会の方として極端に関与をしていくという、こんなことは今のところは考えておりません。

(以 上) 10時43分 終了